



③アメリカ人留学生によるプレゼンテーション。有名なところは、ハリウッド、ラスベガス、ディズニーランドなど…。



①開会式後、まず初めに行われたアイスブレイク(※)。1枚の紙に自分の紹介を4点書き出す。そのうちの1つは「ウソ」。

※アイスブレイク…初対面の緊張を解きほぐすための手法



①



②

②4つの項目を発表し、そのうち1つの「ウソ」を班のメンバーが当てる。なかなか判別が付きにくい項目も。次第に緊張もほぐれ、メンバーからは笑顔があふれて盛り上がった。

⑤他にもさまざまなゲームを通じてお互いの文化や習慣の違いを知り、交流を深める参加者。



⑤

④岩国ユネスコ協会による岩国寿司制作のデモンストレーションが行われた。いろいろな具材を何層も重ねて作られる、海外でも珍しい岩国伝統の押し寿司に、留学生らは興味津々。

国境を越えて触れ合う

市政 PICK-UP

ユネスコ異文化交流会

11月23日、市役所1階多目的ホールでユネスコ異文化交流会が開催されました。

この交流会は、さまざまな国の文化や習慣を学ぶことで相互理解を深め、国際社会において柔軟な考え方やコミュニケーション能力を養うことを目的に企画され、高水高等学校・高森高等学校の生徒24人が、山口県立大学の留学生と交流しました。

この日やって来たのは、カナダやアメリカ、韓国、中国からの留学生計7人と、同大学で国

際文化を専攻する日本人学生5人。まずは簡単なゲーム形式の自己紹介で打ち解けました。また留学生により自国の観光地や食文化の紹介があった後、高校生から「日本に来て一番驚いたことは？」などの質問が飛びました。海外留学の経験がある日本人学生には留学に関しての質問がされ「海外では多くの経験ができるので、チャンスがあれば恐れずにぜひ挑戦してほしい」と答えていました。

関生涯学習課 ☎ 2952110

人権について考える

11月17日、市民会館大ホールで、じんけんフェスタ2015 in いわくにが開催されました。

フェスタは人権問題に対する正しい理解と認識を深めるために毎年開催されています。今年も学校関係者や市民約900人が参加しました。

式典では、市内の中学・高校生から公募したポスター、標語、詩、作文の部門で優秀作品に選ばれた生徒と学校賞の表彰があり、福田良彦市長から表彰状が



▲中学校・標語の部の表彰

じんけんフェスタ 2015 in いわくに

贈られました。また詩・作文の部門で特選を受賞した生徒による作品の朗読が行われ、会場から大きな拍手が送られました。

記念講演では、作家で僧侶の家田荘子氏が『一緒に生きていこう―「女」と「男」・「子ども」と人権―』という演題の下、自身が少年院を訪れて出会った少女とのエピソードなどを挙げ、子供たちを取り囲む環境の大切さなどを話しました。

関人権課 ☎295080



▲さまざまな経験から子供の人権について語る家田氏

安心安全対策訴え



▲中谷大臣(中央)



▲福田市長(中央)

12月2日、中谷元防衛相が市を訪れ、岩国基地を視察後、福田良彦市長、桑原敏幸議長、石本崇副議長らと会談しました。

会談で中谷大臣は、普天間基地から岩国基地へKC-130空中給油機部隊を移駐したことについて感謝の意を述べ、空母艦載機の移駐について「引き続き、理解と協力をお願いしたい」と要請しました。これに対して福田市長は「普天間飛行場の移設の見通しが立たないうちに、空母艦載機の移駐のみを切

中谷防衛大臣来岩

り離して進めることは認められない」と従来の姿勢を強調し、43項目の安心安全対策や地域振興策などの対応の先に最終的な判断があると回答しました。

また中谷大臣は、市や県が要請している岩国錦帯橋空港発着枠の2枠増枠については「米側とできるだけ早く合意できるよう最大限努力する」と述べ、艦艇装備研究所の岩国移転については「前向きに検討を進める」と述べました。

関基地政策課 ☎295024